

# Library

らいぶらりい

図書館からのお知らせ



マスコットキャラクター  
「TO-マン」と「ライちゃん」

当麻町立図書館 (☎84-2566)  
ホームページ <http://lib.net-bibai.co.jp/tohma/>

- 休館日 毎週月曜日/年末年始/祝祭日(11/3を除く)  
特別整理期間
- 開館時間 9時30分～17時15分(木曜日は11時～19時)

## 食欲の秋～スイーツ編～

今回紹介するのはスイーツの本ですが、レシピ本とはひと味違う本です。まずはスイーツを題材にした小説では「スイート・ホーム」(原田マハ)、「西洋菓子店プティ・フル」(千早茜)、「アイスクリン強し」(畠中恵)、「ちょんまげぶりん」(荒木源)、「和菓子のアン」(坂木司) などお仕事から時代小説まで幅広い物語が繰り広げられています。エッセイや紀行文では「おいしい文藝」シリーズの「ひんやりと、甘味」、「うっとり、チョコレート」や「おやつが好き」(坂木司)、「ニッポン全国和菓子の食べある記」(畑主税) など読めばスイーツを食べたくなる話が満載です。

児童書に目を移してみると、帯広・六花亭の創設者の伝記「お菓子の街をつくった男」(上條さなえ)、お菓子にまつわるエピソードが満載の「お菓子物語」シリーズ(今田美奈子)から「ルルとララ」(あんびるやすこ)、「パティシエ☆すばる」(つくもようこ)など人気の読み物があります。

絵本も「ぎょうれつのできるケーキやさん」(ふくざわゆみこ)、「ホットケーキできあがり！」(カール)、「ケーキやさんのゆうれい」(オグバン)などの見て美味しいものや、忘れてはならないヒーロー「アンパンマン」(やなせたかし)など豊富にあります。

スイーツの食べ過ぎには注意ですが、読むスイーツおひとついかがですか。

おおしま ますみ  
大島 真寿美 (1962～)

### Bookトリア

今年7月に『渦 妹背山婦女庭訓 魂結び』で第161回直木賞を受賞した大島真寿美さんは高校在学中に脚本の執筆を開始し、その後劇団を主宰し、脚本や演出を担当する演劇人でした。

その最中に小説の新人賞への応募を開始し、1992年に文学界新人賞を受賞。こうして小説家として新たなスタートを切りました。

長年日常を題材にした小説を執筆してきた大島さんでしたが、今回の直木賞受賞作で初めて時代小説に取り組むなど創作意欲はますますさかんです。

その他在館本：『チョコリエッタ』、『ピエタ』、『三人姉妹』他

### ピックアップ! 今月の3冊

9月1日  
樹木希林・内田也哉子

9月1日  
樹木希林の内田也哉子

9月1日は大勢の子どもにとって悲しい日。そうつぶやいた母は何を伝えたかったのか。母・樹木希林が遺した言葉と、それを受けて娘・内田也哉子が「不登校」や「命」について考え、さまざまな人と対話して紡ぎだした言葉をまとめた1冊。これは、「ままならない人生を生きる意味」についての物語。

氷獄  
海堂 尊

世間を震撼させた手術室での連続殺人事件「パチスタ・スキヤンダル」そして開廷したパチスタ裁判の被疑者を弁護するのは新人弁護士・日高正義。「チームパチスタの栄光」のその後を描いた表題作の他、全4編からなる短編集。

北極と南極の「へんくわ」でわかる地球のこと  
中山由美

北極と南極、より寒いのはどっち? 氷の量が多いのはどっち? どんな動物がいるの? 女性で初めて記者として南極観測越冬隊に参加し、その後も北極と南極を何度も見てきた著者がその違いや地球環境の変化について語る。

新刊書	
愛してるって言えなくたって	五十嵐貴久
明日死んだ男	赤川次郎
いけない	道尾秀介
営繕かかや怪異譚 その2	小野不由美
黄金夜界	橋本治
格闘	高樹のぶ子
君が異端だった頃	島田雅彦
クジラアタマの王様	伊坂幸太郎
剣樹抄	沖方丁
決断の刻	堂場瞬一
灼熱	秋吉理香子
ジョン・マン 7	山本一力
神前酔狂宴	古谷田奈月
スズメの事ム所	朱川湊人
スワロウテイルの消失点	川瀬七緒
絶声	下村敦史
戦国の教科書	天野純希
チングス紀 5	北方謙三
てんげんつう	畠中恵
夏の騎士	百田尚樹
夏物語	川上未映子
ひと喰い介護	安田依央
のっけから失礼します	三浦しをん
へぼ侍	坂上泉
密室を開ける手	藤本ひとみ
妙鱗	赤神諒
ランチ酒	原田ひ香
龍の袖	藤原緋沙子
烈風ただなか	あさのあつこ
我が少女A	高村薫

### 新刊児童図書

うちに帰りたくないときによむ本	川崎二三彦
おかあさんありがとう	みやにしたつや
おばけとしょかん	斉藤洋
思いはいのり、言葉はつばさ	まはら三桃
クレムとカニさん	ランバーズ
じいじが迷子になっちゃった	城戸久枝
タヌキのきょうしつ	山下明生
トイ・ストーリー 4	
ドラゴンクエスト ユア・ストーリー	宮本深礼
わくわく こども詩集	